

森

の学校だより

富士山、福島、広島の3地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト vol.29



Profile

大場隆博(おおば たかひろ)
1969年宮城県栗原市生まれ。栗駒山麓を中心に山林事業、製材事業及びチップ製造、建築業と山から住宅まで一貫した家業に従事。地域風土と調和した暮らしの提案を行うと共に、森林環境保護活動、地域再生活動に取り組む。東日本大震災後は避難所へのペレットストーブの設置や支援物資の配布を行ったほか、「手のひらに太陽の家プロジェクト」や森林資源の活用を通じた新たな産業と雇用の創出に取り組んでいる。

森 羅 万 象

NPO 法人
日本の森バイオマスネットワーク
副理事長 大場隆博さん

「地元の森林資源で
熱エネルギーを
賄いたい」

今回のゲスト

宮城県を本拠に、全国に森林資源の活用を通じた地域の活性化に取り組んでいる、NPO法人日本の森バイオマスネットワーク。副理事長の大場隆博さんにお話を聞きました。



Q 1. 日本の森バイオマスネットワークについて教えてください。

2008年6月に発生した岩手・宮城内陸地震をきっかけにして、ご自身も被災された「くりこま高原自然学校」の佐々木豊志さんや県内の仲間と一緒に、2009年12月に設立しました。地域にある森林資源の有効利用を推進するために、木質ペレットの普及や森林体験プログラムの企画運営、さらには地元材と自然エネルギーを活用した循環型の住宅で、東日本大震災で被災した子どもたちを受け入れる「手のひらに太陽の家プロジェクト」などを行っています。設立時は「みやぎバイオマスネットワーク」だったんですが、一緒にやろう！という声やつながりが全国に広がったので、2011年に「日本の森バイオマスネットワーク」と、視野がさらに大きくなりました。

Q 2. 岩手・宮城内陸地震がなぜ設立のきっかけになったんでしょうか。

佐々木さんとは内陸地震が発生する以前から、一緒に活動をしていました。実は今から20年近く前に、アトピー症状で苦しむ女の子の事例に出会いました。住宅に使用される新建材から出るガスが原因と聞き、ショックを受けました。それをきっかけにいろいろ調べていくと、自分たちが木材に使用していた防カビ剤や防虫剤も農薬であり、病気の原因であることに気づき二重のショック。そこから、安全な材を供給するためには供給側だけでなく消費者の育成も同時に必要と考え、森林教室の開催や木質ペレット・薪ストーブ普及の活動をやっていたんです。内陸地震で改めて、地元の森林資源を特に燃料として活用することや、地域に雇用を生み出す必要性を実感して、一気に動き出しました。



Q 3. これから力をいれていきたい活動は？

やはり、森林資源を燃料として利用することを普及することですね。木質ペレットの場合、おが屑や端材を有効に利用することができ、かつペレットを作って売るという事業が生まれる。そのためには、薪やペレットを熱エネルギーとして利用することが、地域の森を守り育むことにつながると理解して、使う人を増やしていかないとはいけません。薪ボイラー・薪ストーブの普及と共に、薪を作る人と現場が必要です。小規模・低コストで始められる林業スタイルを学ぶキコリ養成講座をさらに実施していきます。これだけ豊かな森林資源があるのだから、その利用をどんどん高めていき、石油からバイオマスエネルギーに変わるように闘っていきますよ(笑)。嬉しいことに今、日本の森バイオマスネットワークはどんどん仲間が増えています。現在全国に13の支部があり、その多くが工務店や住宅建築会社など、木材を利用し、消費者とつながる現場の皆さんです。支部会議では、各地域の取り組みやアイデアを共有しながら、今後の展開をみんなで考えています。将来的には、47都道府県にそれぞれ1つずつ、支部が生まれるといいですね。



ろうきん森の学校全国事務局
NPO 法人ホールアース研究所
〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL : 0544-66-0790
FAX : 0544-67-0567
E-mail: forest@wens.gr.jp
HP : http://www.morigakko.com

富士山地区

柚野エリア

カヌー、水遊び生き物観察！ 柚野は富士の恵みに溢れています



川遊び

柚野エリアに沿って流れる清流・芝川では、子どもたちの歓声が響き渡ります。カヌー、水遊び、生き物観察…。富士山の恵みです。



夏野菜

柚野エリアでは色とりどりの夏野菜が収穫されます。その多くは、キャンプに参加してくれた子どもたちのお腹の中に…。



セミの羽化

夕方から早朝にかけて、あちらこちらでセミの羽化が見られます。長い時間、土の中で暮らした幼虫がゆっくり成虫になる様は感動的です。

里山のようちえん

「里山のようちえん」では畑と田んぼをテーマに、年間を通じて親子で楽しく食育プログラムを行なっています。3月のテーマは「野草摘み」。野草摘みをするので普段歩いている道が全く違う世界に見えるので不思議です。他にもうどん作りやジャガイモ植えを行いました。昨年も参加してくれた子どもは「あ、ヨモギだ！カラスノエンドウだ！ハコベだ！」と次々と野草を見つけていました。昨年の参加以降、お母さんと近くの公園で野草摘みをしていたそうです。夕飯は摘んできた野草でかき揚げを作り、みんなの手作りのうどんの上に乗せていただきました。うどんの形は不恰好だけれど、みんなの「おいしくなあれ」という想いが入ったうどんはとても美味しかったです。



「里山つなぎ隊」

毎度楽しくボランティア活動をしている「里山つなぎ隊」

4月は、雨の中での開催。竹林の浸食を防ぐために、みんなでタケノコ掘りをして楽しみました。今回はボランティア活動の資金を自分たちで調達するためにタケノコを掘って、きれいに拭いて、重さを量って、袋に包んで、ラベルを貼って、タケノコを出荷する作業を実践。みんなで巨大タケノコを掘り起こしたり、キレイに掘り起こすことに悪戦苦闘したり、大変な作業の割にそれほどお金に代わらない現実を目の当たりにしたり…。学びの深い4月のボランティア活動になりました。「里山つなぎ隊」では毎月楽しみながら、地域のために貢献できるボランティア活動を行っています。



活動
予定



「里山のようちえん」

日時：7月6日(土)～7日(日)
場所：ホールアース自然学校
対象者：3歳～6歳(未就学児)とその保護者
※リピーターの方は小2まで
参加費：大人13,000円 子ども9,000円

隔月で行う食育プログラム「里山のようちえん」。7月は清流芝川での川遊びとマスのつかみどり。夜の生き物観察や夏野菜収穫、また地元の小麦粉で作った流しうどんも行います。みんなで夏を楽しみましょう。

福島地区

湯ノ岳エリア

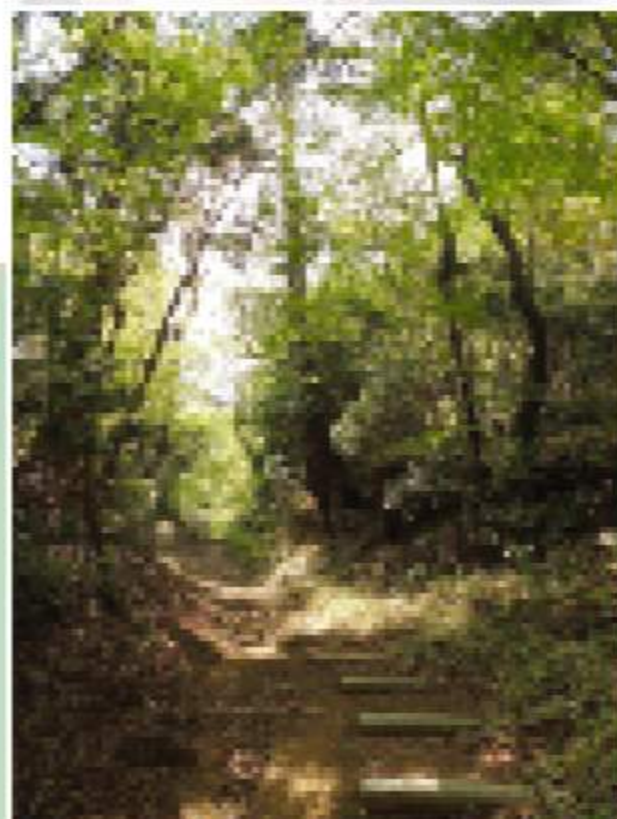
県立水石山自然公園は、馬の放牧が見られる絶景場所です！

赤井嶽・水石山

湯ノ岳山荘から車で約30分のところに赤井嶽(標高605m)さらに6分先に県立水石山自然公園(標高735m)があります。赤井嶽の山頂近くに薬師寺があり、そこに至る旧参道は森林浴遊歩道として整備されています。

途中には樹齢500年の杉・檜が見られます。また、薬師寺近くにはいわき市の天然記念物でもある龍登杉(樹高50m)もあります。

水石山の頂上付近は一面芝地で春から秋にかけては馬の放牧が行なわれています。頂上の展望台からは、いわきの海岸をはじめ市内全域を一望にでき、遥か西方には那須、磐梯吾妻の山々も望めます。



旧参道



龍登杉



放牧地

自然観察会 & キノコのコマ打ち

2013年2月17日に自然観察会とキノコのコマ打ち作業を行ないました。労金連のメンバーには午後、スギ林に侵入しているモウソウ竹の除去作業も行ってもらいました。観察コース2と3の樹名板の確認と補修を兼ねて行いました。キノコのコマ打ちとして、シイタケ菌2,000個を皆で行いました。料理体験はキノコごはん、キノコ汁、石窯料理、天ぷら等の他、現在ソバ打ち修行中のメンバーによるソバ打ち体験も行いました。



自然観察会

2013年4月21日、当日はあいにくの雨となりましたが、雨具着用の上、山野草の中でも食べられるものの採取を中心にした自然観察会を行いました。タラノメ、コゴミ、ヤマウド等21種類の山野草が採取できましたが、時期的に早く数量的にはあまり採れませんでした。料理は量的にまとまったタラノメ、ヤマウド、ウコギ等の他、静岡産タケノコを中心としたものになりました。



活動予定



「自然観察会、ネイチャークラフト、野外料理体験」

日時: 8月18日(日) 9:00~12:00

場所: 湯ノ岳山荘

対象者: 誰でも

参加費: 500円

湯ノ岳山荘周辺の夏の自然観察会を行いながら、ネイチャークラフトを作ります。また、採れた食材も使って野外料理体験も行います。

広島地区

夏真っ盛りの万代池周辺では 沢山の可憐な花が楽しめます！



ヌモトラノオ (沼虎の尾)・サクラハネ科

湧水のあるような湿地に生え、地下茎を伸ばして増える多年草。茎頂に総状花序を直立し、白い小花を多数つける。よく似たオカトラノオも日当たりの良い草地や林縁に自生し、こちらの総状花序は垂れ下がる。



ヘクソカズラ (萋萋・臭蔓) 別名ヤイトバナ・サオトメカズラ)・アカネ科

全草に独特の臭気があることから「万葉集」でもクソカズラと。見た目からは別名のサオトメカズラの方が。林縁や道路脇にみられるつる性の多年草。果実はしもやけの薬として古代から利用された。



ネムノキ (合歓の木)・コマメ科

雑木林で大きく枝を広げ、梅雨開けの頃に淡紅色の雄しべが目立つ頭状の花が集まって咲く。葉の展開はとても遅く初夏、偶数2回羽状複葉の葉は夜になると垂れ下がり、小葉は閉じて(就眠運動という)眠っているように見える。



2013年3月25日(日)～27日(火)の2泊3日で、プレイリーダー養成ユースキャンプを開催しました。このキャンプは、1年間を通じてろうきん森の学校の活動をサポートするボランティアを養成する目的で毎年実施しており、自然体験活動に興味を持つ高校生、大学生など15名が参加しました。キャンプでは、まず参加者自身が自然体験プログラムを体験することから始まり、その後、自然体験プログラムの作り方や野外活動技術、安全管理、子どもとのコミュニケーションスキルなどを実習形式で学びました。参加した高校生、大学生は「今年1年、是非子どものキャンプに関わってみたい」と意欲を見せていました。



森のカフェ・春編～溪流魚と山菜料理に舌鼓～

ゴールデンウィークのスタートとなった2013年4月27日(土)、ろうきん森の学校はコバノミツバツツジが咲き乱れ、春の心地良い季節を迎えていました。この日、森のカフェ・春編～溪流魚と山菜料理に舌鼓～を開催し、15名の参加者が森の学校の春を満喫しました。午前10時にスタートした行事は、参加者の自己紹介の後、さっそく溪流魚や山菜を使った料理作りに挑戦。山菜は、タラ、コシアブラ、コゴミ、ウドなどを天ぷらや酢味噌和えに、また、溪流魚のアマゴはホイル焼きと唐揚げにしておいしくいただきました。昼食後は、万代池でカヌーを楽しんだり、何人かでおしゃべりを楽しんだり、ゆったりとした間に満足な1日を過ごしました。



活動予定



「森の妖精くらぶ」

日時:2013年8月4日(日)

10:00～15:00

場所:ろうきん森の学校

対象者:未就学児童と保護者

参加費:大人2,000円、

子ども1,000円



子どもの好奇心・発見・想像・創造などを引き出す森のアクティビティや大人同士の交流の時間などを、森林セラピストやアウトドアのプロ、現役の幼稚園教師が案内するっておきの1日です。



私にも出来る事



暮らしの
スタイルを少しだけ
変えてみる

「森にかかわる達人」

大場 隆博さんのお話は、まだまだ続きます！

Q4.「ろうきん森の学校だより」の読者の皆さんにメッセージを！

日本はこれだけ多くの森林に覆われている、世界でも貴重な国です。にも関わらず、とかくエネルギーとなると外国にお金を払って資源を購入している。これほどもったいないことはありません。石油を買うお金を、国内の森林資源を買うお金に回す。そうすると、地元経済が潤って地域が活性化していきます。木質ペレットや薪を使うということは、資源とお金とエネルギーの国内循環が生まれ、地元の人々が定着し、収入と支出のバランスがとれていくことにつながるんですね。そして、子どもたちに残していける地域が元気になります。そのために、皆さんの暮らしのスタイルを少しだけ変えて頂きたい。地元の森林資源で、熱というエネルギーを賄う。そんな方法をぜひ考えて欲しいと思います。

NP0 法人日本の森バイオマスネットワーク
<http://jfbn.org/>

大場さんオススメの書籍

「神去なあな日常」

三浦しをん著 (徳間文庫)
林業のことや地域で暮らすことが、とても分かりやすく的確に表現されています！



もり沢山

体験者

労働金庫連合会
総合企画部 橘 杏奈さん

森の体験レポート

東京で育ち、自然と全く縁のない生活を送ってきた新社会人です。今回の活動を通じて、なじみがなかった木や森について楽しく学び、同期や日信協の方々とのよい思い出ができました。

新人研修の「ろうきん森の学校」入門のプログラムに参加しましたが、あいにくの天気で野外活動はできませんでした。しかし、室内でも楽しく有意義な時間を過ごせたと思います。今回は新入職員向けの導入編ということもあり、主に1.チームに分かれてゲーム感覚で木や森について楽しく学ぶ、2.DVDの鑑賞を通じて森の学校について深く知ることができました。具体的に、1については、チームごとに分かれて、木のつく漢字を書き出しその数を競い合うと共に葉や木片をみてどの木のものが当たるゲームを行いました。ゲームを通じて、私たちが普段木のことをあまりにも意識せずに暮らしているなと気づきました。また、葉の形や木材の用途の違いなどを知り木の奥深さを知りました。2については、たくさんの方々が楽しみながら活動に参加している映像を見て、ろうきん森の学校というプロジェクトを維持・継続することが重要であると思いました。



富士山地区

■ 柚野エリア
■ 田貫湖エリア
■ 御殿場エリア

福島地区

■ 湯ノ岳エリア
■ 岩出・好間・藤原エリア

広島地区

※ 毎週木曜日は平日作業隊を実施しています。初めて参加される方は、お問い合わせください。

6月

日程 6月8日(土)～9日(日)
内容 鹿革クラフトとジビエ料理
対象 18歳以上の男女
費用 18,000円

日程 6月15日(土)
内容 おいしい里山物語(アマゴのつかみ取り)
対象 満3歳以上
費用 大人3,500円 子ども2,500円

日程 6月16日(日) 湯ノ岳山荘
内容 自然観察会・森の手入作業・野外料理体験
対象 どなたでも参加できます 費用 500円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備
■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業
■ 第1、第3日曜日…調査
■ 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

日程 6月8日(土)～9日(日)
内容 父と子のワイルドライフ入門
対象 父親と小学生の子ども6組
費用 父親と子ども1名で10,000円
(子どもが1名増えるごとに2,000円追加)

日程 6月23日(日)
内容 プレイリーダー養成ユースキャンプ
対象 高校生・大学生・青年15名
費用 無料

7月

日程 7月6日(土)～7日(日)
内容 里山のようちえん
マスのつかみ取り、夏野菜収穫、流しうどん
対象 3歳～6歳(未就学児)とその保護者
費用 大人13,000円、子ども9,000円

日程 7月27日(土)
内容 植物のチカラ
(森の香りを閉じ込めたモイストボプリ作り)
対象 小学生以上
費用 3,000円

日程 7月21日(日) 湯ノ岳山荘
内容 自然観察会・炭焼き体験・野外料理体験
対象 どなたでも参加できます 費用 500円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備
■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業
■ 第1、第3日曜日…調査
■ 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

日程 7月6日(土)
内容 下草刈と地域交流会
対象 会員・大人
費用 無料

日程 7月6日(土)
内容 森の学校動植物調査報告会
対象 どなたでも
費用 無料

8月

日程 8月4日(日)
内容 富士宮市「宮おどり」
(ノルディックポールを使ったエクササイズ)
対象 小学生以上
費用 1,000円(実費)

日程 8月24日(土)～25日(日)
内容 自然学校講座・森と暮らしのコース第三期
【第5回】(富士山の森歩きと湧水散策)
対象 18歳以上の男女
費用 120,000円(通年)

日程 8月18日(日) 湯ノ岳山荘
内容 自然観察会・ネイチャークラフト・野外
対象 どなたでも参加できます 費用 500円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備
■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業
■ 第1、第3日曜日…調査
■ 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

日程 8月4日(日)
内容 森の妖精くらぶ
対象 未就学児と保護者
費用 大人2,500円、幼児1,500円

Information

NPO 法人ホールアース研究所
〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567
E-mail:forest@wens.gr.jp
HP: http://wens.gr.jp

Access

電車: JR 身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分
車: 東名高速道路富士ICより西富士有料道路経由40分



Information

NPO 法人いわきの森に親しむ会
〒970-8326 いわき市常磐藤原町湯の岳2 湯ノ岳山荘内
TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273
E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp
HP: http://iwaki-mori.jimdo.com/

Access

電車: JR 常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分
車: 常磐自動車道いわき湯本ICより10分



Information

NPO 法人ひろしま自然学校
〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207
TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863
E-mail:nkk2002@mac.com
HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access

Access

電車: JR 山陽新幹線「広島駅」よりバス60分
車: 広島自動車道広島北ICより20分



樹になる話



使うことで護る

少し前に、東大名誉教授の太田猛彦さんが書かれた『森林飽和』が話題になりました。“日本には、「護る森」と「使う森」がある”との示唆が、とても印象に残りました。量的な豊かさから質的な豊かさへの転換が必要ですね。ろうきん森の学校は、「使うことで護る」ことを目指す取り組みです。活動開始からまもなく10年を迎える今、新しい活動地の選定や新たな協働企画など、次なる10年への一步を踏み出します。

ろうきん森の学校は...

日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO 法人ホールアース研究所が主管で行う、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島の全国3地区で同時展開しています。